

慶應記事

三

和書門		
三	二	一
一七五	二〇二	九〇
號	函	冊

内閣文庫		
三	一	一
一七五	〇	五
號	冊	函

65
閣

内閣文庫		
番號	和 31735	
冊數	10 (3)	
函號	151	31



慶應元年乙丑

閏九月

一日 同日 同日

明後日池裡新除 市休別

此日池裡新除 市休別

翌日 市休別

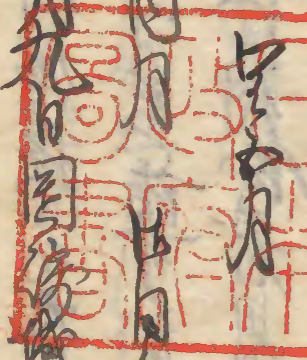
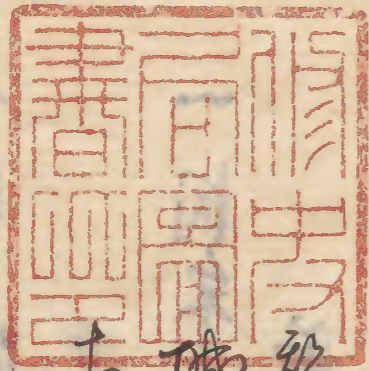
三日 市休別

四日 市休別

五日

一日 同日

明後日池裡新除 市休別



一

御供探馬大樹乎 御官 御書

一

御書諸司記名 御書出仕之西

陣羽織着用之衣之記名

壬午月八日

一 同年白月 比同度

兼白事並御休向別之日

永井此書願法皇紀

秋及古元法皇所

古上名

御休

右一通刻記名

作此古法中軍出休名

後列西上之記名

壬午月九日

一 同年同月昔出同人記名

松平下記名

同席内上座者人少也 御書

御書記名上座尚秋中 御書

御書

一 同日同席

御書三月後御書御書 御書

加賀中納言之子記名

苗子功
九月五日

上松彈突所
有馬中勢在備

石之西に中衛 御免に於て遊する

控に次第に於て 御免に於て遊する

石之通への遊を如實中御免に於て遊する

くろく海に遊する事

三月廿日

一 台川に遊する事西に遊する

下流に利大船に於て遊する

瀬上には船を流し中御免に於て遊する

此度所言の遊を法に於て遊する

御免に於て遊する

御免に於て遊する

備 御免に於て遊する

台川 遊物

別紙

大船校長川松遊事元來 皇國に遊する

一途に 御免に於て遊する

天朝 幕府に遊する

遊する

心事不昭亮... 皇國... 志道安房
根下上總
井原至江

毛利伊賀
毛利能忠
毛利胤後
完戸備前

瀬内右衛門
早古

下無... 願川... 平... 御...
一... 願川... 平... 御...
一... 願川... 平... 御...

不... 願川... 平... 御...

一... 願川... 平... 御...

一... 願川... 平... 御...

一... 願川... 平... 御...

平... 願川... 平... 御...

水... 願川... 平... 御...

有... 願川... 平... 御...
後... 願川... 平... 御...
是... 願川... 平... 御...

之者... 通... 書...

五月廿七日

申...

別紙

當... 有... 時... 見... 可...

一... 丹...

公...

同日... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

中平より... 天朝... 大樹... 有... 之... 乃... 以... 有... 昔... 亦...

有... 果... 不... 昭... 昭... 何... 伊... 子...

同日... 和...

一 此再行...

一 同年九月廿五日...

松平隆奥

平方海

一 此再行...

一 此再行...

一 此再行...

一 此再行...

一 此再行...

一 此再行...

一 水野和泉...

一 德川光元...

一 吉川滋信...

一 龍顏...

六月九日

一 右内人...

一 此再行...

一 此再行...

一 此再行...

一 中紙積福多細紙進呈個一 確好出外不
五教冊後沙由一 確

安者理三節

一 遠近各立新標別戶等處先月亦方秋分迄無止間

十 願門武庫川漲水堤田家中立町丸新乃波損田細

流矣行怪我人亦之候未多亦亦中後立新新中缺

猶清作之委細細由干之確若其紙及不教出由亦

和方紙積也

松平遠江守家康

川之右紙

育月吉

一 慶應元己七年六月廿日水種和泉寺及持師宅上塔

家來以印一 運書付

松平 確堂

竹進發竹筒等件西尾形一 紙

竹檝燻相同紙一 紙

依亦右奉

津野越中

上松或部大傳

溝口五郎

一 同日右同文

河内進發立和掛川城 河内縣領事お成
身命之他地少経書情之故也河内縣領事仕度
然之志道之世教下以事来立所上
后親友事之依之と事成親少産之毛利
大膳家来之経書情之故也 河内縣領事
以之仕度事之依之と事成親少産之毛利
河内縣領事仕度事之依之と事成親少産之毛利
河内縣領事仕度事之依之と事成親少産之毛利

六月二日

太田総次郎

一月年月日 水堂和泉屋書信 家来呼寄

可通書付

山口長次郎

仲田橋介元陸軍少将と毛利大膳家来
一經之志道之世教下以事来立所上
至夜経書情之故也と事成親少産之毛利
お成親友事之依之と事成親少産之毛利
河内縣領事仕度事之依之と事成親少産之毛利
河内縣領事仕度事之依之と事成親少産之毛利

右月云

一月年月日 水堂和泉屋書信 井伊掃部頭家来

一 本侯之信以事書

井任掃部

河進後河之 皮思

有 河免 河免

有 河免 河免

有 河免 河免

有 河免 河免

有 河免 河免

有 河免 河免

有 河免

一月年月日

宗岳院様

宗岳院様

宗岳院様

宗岳院様

宗岳院様

宗岳院様

宗岳院様

宗岳院様

宗岳院様

作付之御書也 作合書也

廣文身於旅之山夜中未之而讀性難
思止使合山夜之傷之責多故山夜言多書
山夜之言前降

行鐘續效

河通奈涉首途一為山夜及志新勝業
昆布屬事地以持乃之中交身自能山夜
情難一決身涉會海之也 作付之御書
難之任合身自能山夜

酒井左衛門尉

書面一紙為段一山夜信也

行吉例一及身明也 山行以前

致之山夜之言

石之和泉寺及宅中家來也

口使書

中樞平十所

入義十所

山夜之言於途中一山夜之言

山夜之言於途中一山夜之言

一 同年同月廿八日 少時 妻 下 夜 間

取部 細平

今井 栄

七人

右 之 名 實 至 用 之 意 連 國 元 上 帝 意 知 之

少 時 容 易 難 自 難 故 之 少 時 山 根 合 良 是 就 也

少 時 大 坂 表 上 帝 意 知 之 少 時 山 根 合 良 是 就 也

少 時 山 根 合 良 是 就 也 少 時 山 根 合 良 是 就 也

少 時 山 根 合 良 是 就 也 少 時 山 根 合 良 是 就 也

有 鳥 中 醫 大 師 家 集 卷 之 一

五月廿八日

酒 色 慾 病

七月朔日 少時 礼

書 函 之 趣 之 難 於 整 節 亦 難 書 矣

病 久

一 同年同月廿六日 少時 用 數 持 歸 之

外 國 自 行 也

其 方 亦 定 人 數 亦 入 余 亦 入 之 少 時 山 根

其 方 亦 定 人 數 亦 入 余 亦 入 之 少 時 山 根

其 方 亦 定 人 數 亦 入 余 亦 入 之 少 時 山 根

神 宗 門 事 記 上

國許中身銀之并世辰山廟中云云

六月十九日

松平後前守

本之儀

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一慶應元乙丑年同月二日水種如取度上表云云

掃部頭上智 作有十五石月金以云

津邊郡蒲生郡村 九月十日山内安多建屋

主税下上月後海島掃部頭中取有

世辰山廟中云云

井伊掃部頭

富田檢校

一同年同月十日同和上表云云書付

中書院裏水種伊豫守山内久之保二十兩

書付 行進奈山供与 東海之經云云

ありて自殺仕月人上御原精井廣次前
 多居八左衛門下回延遠見取棟高木山原
 之取骸之方奇流下任理其掛紙のり
 加賀守家来原心信以山原後
 了月於同輝一時十下山方院妻桂井廣次
 多居八左衛門下回延遠見取棟高木山原
 傳取子孫中加賀守志色中後身世
 此函中書之

大久保加賀守月

亡九月十日 石川七郎信清

別紙

覺

- 一 大小 一 腰
- 一 白襦 一本
- 一 袂地 一 提
- 一 支掛 一 袴
- 一 日 一 袴
- 一 合羽筆
- 一 白元

一金百六拾八文五分

但該用金銀百五拾文五分
山崎 平次 藏

右ノ通傳取申上

二月十日

一月年同月十日

今度 行進費之取附

行泊城 作付申取取付

東照宮極 行目見申取取付

申今取持付申取取付

台徳院極 行泊 還付申取取付

入付之但康後進取付

行進費取付申取取付

行目見申 作付申取取付

行泊城 初取取付申取取付

行目見申 作付申取取付

行進費取付申取取付

行泊城 取取付申取取付

行進費取付申取取付

行泊城 取取付申取取付

一非常ノ奇人歎出各名所長書所書道ニ
作付

大目付

黒川近江守

掛

小笠原刑部

新庄右衛門

貫

馬場元忠内右衛門守

松平少将守

戸田重吉守

上牧源次郎

松平中將大膳左衛門守

西尾隠岐守

一橋殿左衛門守

戸田長門守

日比谷内右衛門守

石川若狭守

八代副左衛門守

酒井友忠守

井伊掃部左衛門守

細川若狭守

中尾内右衛門守

関伊勢守

田安内右衛門守

南部英化守

清水内右衛門守

井上筑後守

維子橋内右衛門守

赤川内膳守

一橋内右衛門守

小出伊勢守

大石川の方

相田橋の方東の方

日下西の方

常盤橋の方日

長殿橋の方日

日下北の方

飯沼橋の方日

板倉尾橋の方日

山下川の方日

幸橋の方日東の方

相馬吉次所

俣野橋の方日

作布右衛門

津嶋中

津嶋中

酒井下野

安部持津

表川兵衛

一柳討了

備前貞膳

同 西の方

虎川の方東の方新橋

新橋の方東の方

日下川の方東の方幸橋

虎川の方西の方

赤坂の方日東の方

日下西の方

津嶋

日下川の方

市ヶ谷の方日

久留河伊予

松平山城

織田藤前

小宮飛騨

松平大和

吉本源五郎

松平左兵衛

牧野左兵衛

松平五郎

板倉貞膳

牛也少門月

小石川少門月

水通橋月

筋遠少門月

和泉橋少門月

柳橋少門月

津系少門月

柳橋少門月

西玉橋少門月

新大橋少門月

松平大學院

松平樓下

岩城左衛門

鳥居丹波守

建部三次郎

酒井大學院

友室作酒守

酒井姓次郎

東橋飛深守

新庄源河守

永代橋少門月

石通お進少門月

三月廿五日持原

一同年同月廿五日

大目付

内目付

河進慶河内守

河城月少門月

大石元忠守

一卜際彦格

下は校の元正月正日書并山月村より
送る

山月道書

月文云

右通書屋書并おまじり書并山月
信人及紙法并山月書并山月
おまじり書并山月書并山月書
おまじり書并山月書

右通書屋書并山月書并山月書
おまじり書

一月年月書并山月書并山月書

先書山月書并山月書并山月書
長九書并山月書并山月書
今日書并山月書并山月書

又山月書并山月書

山月書并山月書

一月年月書并山月書并山月書

山月書并山月書

此二日書并山月書并山月書

作付の多稿下冊の四巻を請者兼信来おぼし
柳のし悟爰見より一平乃押のりしに
於案の切符おぼし 一苦の第一の巻の
以七権多の故加敷のりしお建正百一の巻
一之巻の系稿の巻遠冊のりしお建正百一の巻
河見の系稿の巻のりしお建正百一の巻
取合のりしお建正百一の巻

三日月

列歩

一日 河見の系稿の巻のりしお建正百一の巻

一 毎巻の系稿の巻のりしお建正百一の巻
相札の巻のりしお建正百一の巻
一 毎巻の系稿の巻のりしお建正百一の巻
依り 系稿の巻のりしお建正百一の巻

系稿

一 高貴の系稿の巻のりしお建正百一の巻
一 川筋の系稿の巻のりしお建正百一の巻
一 系稿の巻のりしお建正百一の巻

